

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2020-42745(P2020-42745A)

【公開日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-011

【出願番号】特願2018-171938(P2018-171938)

【国際特許分類】

G 06 F 3/16 (2006.01)

G 10 L 15/10 (2006.01)

G 06 F 3/0482 (2013.01)

【F I】

G 06 F 3/16 650

G 10 L 15/10 500Z

G 06 F 3/16 620

G 06 F 3/0482

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月1日(2021.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音声を集音する集音手段と、

前記集音手段によって集音された音声の言語を判断する判断手段と、

前記判断手段によって判断された前記集音手段によって集音された音声の言語である第一の言語と前記電子機器において使用される言語として設定されている第二の言語とが異なると判断された場合、前記第一の言語および前記第二の言語をそれぞれ用いて、前記電子機器において使用される言語を前記第二の言語から前記第一の言語に変更することを確認する通知を行うよう制御する制御手段と

を有することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

前記判断手段が前記第一の言語に複数の候補があると判断した場合、前記制御手段は、前記候補の言語および前記第二の言語をそれぞれ用いて、前記電子機器において使用する言語を前記第二の言語から前記候補の言語のうちの一つに変更することを確認する通知を行う

ことを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記制御手段は、前記第二の言語からそれぞれの前記候補の言語に変更することを確認する通知をそれぞれ前記第二の言語を用いて行う

ことを特徴とする請求項2に記載の電子機器。

【請求項4】

前記制御手段は、前記第二の言語から前記候補の言語のうちの一つである第三の言語に変更することを確認する通知を前記第三の言語を用いて行う

ことを特徴とする請求項3に記載の電子機器。

【請求項5】

前記制御手段は、前記候補の言語それぞれに優先度を設定し、前記優先度が高い前記候補の言語から順番にユーザに通知を行う

ことを特徴とする請求項3または4に記載の電子機器。

【請求項6】

前記判断手段は、前記集音された音声の言語に加えて前記集音された音声の単語の意味を解析し、

前記制御手段は、前記集音された音声の言語よりも前記単語が意味する言語の方の優先度を高く設定する

ことを特徴とする請求項5に記載の電子機器。

【請求項7】

さらに表示手段を有し、

前記制御手段は、前記第二の言語からそれぞれの前記候補の言語に変更することを確認する前記第二の言語が用いられた通知と、前記第二の言語から前記第三の言語に変更することを確認する前記第三の言語が用いられた通知と、を前記表示手段によって同じ画面に表示する

ことを特徴とする請求項4に記載の電子機器。

【請求項8】

さらに表示手段を有し、

前記判断手段が前記集音手段によって集音された音声の言語に該当する候補を判断できない場合、前記制御手段は、前記電子機器において使用される言語を変更するための画面を前記表示手段によって表示する

ことを特徴とする請求項1から6のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項9】

前記制御手段は、前記表示手段に前記電子機器において使用される言語の設定を変更する画面を表示したことに応じて、前記電子機器において使用される言語を変更するための音声を前記集音手段によって集音するよう制御する

ことを特徴とする請求項7または8に記載の電子機器。

【請求項10】

さらにユーザの操作を検出する検出手段を有し、

前記制御手段は、ユーザに所定の操作をされたことを前記検出手段によって検出されたことに応じて、前記電子機器において使用される言語を変更するための音声を前記集音手段によって集音する

ことを特徴とする請求項1から9のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項11】

前記制御手段は、前記第一の言語と前記第二の言語が一致すると判断した場合、前記電子機器において使用される言語を変更しないことの通知を行う

ことを特徴とする請求項1から10のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項12】

前記集音手段によって集音された音声の情報を外部装置へ送信し、前記集音手段によって集音された音声が解析された情報を前記外部装置から受信する通信手段をさらに有し、

前記判断手段は、前記通信手段によって受信した前記解析された情報に基づいて、前記集音手段によって集音された音声の言語を判断する

ことを特徴とする請求項1から11のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項13】

音声を集音する集音ステップと、

前記集音手段によって集音された音声の言語を判断する判断ステップと、

前記判断ステップにおいて判断された前記集音ステップにおいて集音された音声の言語である第一の言語と前記電子機器において使用される言語として設定されている第二の言語とが異なると判断された場合、前記第一の言語および前記第二の言語をそれぞれ用いて、前記電子機器において使用される言語を前記第二の言語から前記第一の言語に変更する

ことを確認する通知を行うよう制御する制御ステップと
を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 1 4】

音声を集音する集音ステップと、
前記集音手段によって集音された音声の言語を判断する判断ステップと、
前記判断ステップにおいて判断された前記集音ステップにおいて集音された音声の言語
である第一の言語と前記電子機器において使用される言語として設定されている第二の言
語とが異なると判断された場合、前記第一の言語および前記第二の言語をそれぞれ用いて
、前記電子機器において使用される言語を前記第二の言語から前記第一の言語に変更する
ことを確認する通知を行うよう制御する制御ステップとを電子機器に実行させるためのプ
ログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために、本発明の電子機器は、音声を集音する集音手段と、前記集音手段によって集音された音声の言語を判断する判断手段と、前記判断手段によって判断された前記集音手段によって集音された音声の言語である第一の言語と前記電子機器において使用される言語として設定されている第二の言語とが異なると判断された場合、前記第一の言語および前記第二の言語をそれぞれ用いて、前記電子機器において使用される言語を前記第二の言語から前記第一の言語に変更することを確認する通知を行うよう制御する制御手段とを有することを特徴とする。